

教員による取り組み

【出前講座】

大学の研究成果を社会に還元する取り組みの一環として、平成13年度から実施しています。100を超える講座を設定し、リクエストに応じて教員が県内各地の学校や公民館などに伺います。

◆令和4年度 10講座

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、県内高校が開催する学習会のみに限定



出前講座ウェブ



出前講座

【公開講座】

地域のみなさんに生涯学習の機会を提供するため、公開講座を開催しています。

◆令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンデマンド配信



公開講座ウェブ



公開講座

【外国語教育研究所】

県内高校生を対象としたグローバル人材育成事業「明石塾」、英語コンテスト「明石杯」、高等学校連携英語授業、高校生を対象とした「オンラインディスカッションプログラム」などを実施しました。また、海外事業展開をしている県内企業でのビジネス英語研修、玉村小学校での英語授業支援、幅広い年齢層の方が研究員との英会話を楽しむ「グローバルカフェ」などに取り組みました。今後もこれらの活動をさらに充実させ、積極的に地域の皆さまに貢献してまいります。

◆令和4年度高等学校連携英語授業 計15回

受講した高校生 延べ819名



外国語教育研究所ウェブ



外国語教育研究所

【群馬学センター】

群馬学センターでは、群馬県の歴史や社会に関する講座や講演会の開催、書籍の刊行を行っています。年に数回開催している群馬学連続シンポジウムは42回を数え、参加者は累計16,000人となっています。また、令和4年度は歴史研究の基礎である文献史料の読解を通して地域の歴史と文化について学ぶ、群馬学連続セミナーを開講しました。群馬学センター資料室では郷土史家萩原進氏の蔵書を中心に約6,500冊の群馬関連の図書を公開しています。

◆令和4年度群馬学連続シンポジウム(2回開催)

参加者164名

令和4年度群馬学連続セミナー(2期開催)

参加者延べ457名



群馬学センターウェブ



群馬学センター

【地域日本語教育センター】

在住外国人が地域社会で生活する上で大きな問題となる日本語の学習・支援の拠点として、日本語教育を担う人材の育成、外国人への日本語学習の機会の提供、生活日本語の研究、関係機関との連携などの事業を行っています。

◆令和4年度地域日本語教育講演会 参加者46名

令和4年度日本語ボランティアスキルアップ研修(2回開催) 参加者29名



地域日本語教育センターウェブ



地域日本語教育センター

【審議会・委員等】

群馬県立高等学校評議員／群馬県スポーツ推進審議会委員／群馬地方労働審議会委員／群馬県市町村振興協会評議員／群馬県文化財保護審議会専門委員／群馬県男女共同参画推進委員会委員／群馬県地域創生部指定管理者評価委員会委員／前橋市社会教育委員／群馬県観音審議会委員／みどり市まちしごとひとと創生総合戦略検証委員会委員／玉村町公民館運営審議会副委員長／たまむらの風景フォトコンテスト実行委員会副会長／史跡女堀調査整備委員会委員／公益財団法人ぐんま赤尾奨学財団選考委員会委員 など



群馬県立女子大学 2022 地域・社会貢献活動 報告書

全ての学科・課程

全ての学科・課程

国文学科

美学美術史学科

美学美術史学科

美学美術史学科

玉村町 小中学校でのボランティア



町内にある5つの小学校と2つの中学校での授業補助・町探検・就学時健康診断・放課後支援等の様々な教育活動に学生が携わっています。子ども目線の優しい対応が、児童、生徒、保護者、そして先生方からも好評です。

地域企業のイベント支援



地元企業(株)ケアコム主催、地域住民のためのイベントにボランティアスタッフとして参加しました。地域の人たちの声に耳を傾けながら、企業と人をつなぐ活動を行いました。

なるほど「絹ラボ!」研究助成 絹文化!お国ことば調査プロジェクト



世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」研究費助成を受けて、活動しています。その名も「絹ラボ!」研究テーマは、「高山社従業員の流れと方言分布」です。養蚕ことばの方言分布地図を、歴史と重ね合わせて解説しています。研究成果は、Webページで公開中!



群馬県内の美術館にて ワークショップを実施



アートマネジメントゼミでは県内の5つの美術館と連携し、教育普及事業として様々な造形活動を行うワークショップを行っています。

デザインマッチング



美学美術史学科デザインゼミ生と県内企業とのマッチング事業を10年以上前から実施しています。今年度はアンセリデザインと納豆パウダーパッケージデザインを行いました。

特別支援学校との商品開発



群馬県内特別支援学校(県立渋川特別支援学校、県立沼田特別支援学校、県立富岡特別支援学校)の作業製品の良さや魅力を発信するために、美学美術史学科の授業「デザイン3(企画)」内で製品パッケージのデザイン、販売場所のリデザインを提案しました。

美学美術史学科

美学美術史学科

美学美術史学科

美学美術史学科

美学美術史学科

美学美術史学科

「芸術の現場へ3」



玉村八幡宮と連携し、神楽殿でさまざまなパフォーマンスを長年行ってきた「ひだまる」を開催しました。また地域で長年受け継がれてきた「熊鷹」を学生が継承し、造形もリニューアルして、祭りなどで披露しています。

玉村町の医家 小泉重田家で 展覧会



国の登録有形文化財「重田家住宅」を活用する方法について玉村町から依頼を受け、実技(絵画・デザイン)ゼミ生と実技教員の作品を庭と室内に展示しました。重厚で気品のある調度品、かつて使用されていた医療器具等、作品を探しながら家の歴史を体感する展示を行いました。

渋川アートリラ2022in伊香保



アートイベント「渋川アートリラ2022in伊香保」に教員と美学美術史学科実技(絵画・デザイン)ゼミ生が参加しました。来場者と楽しく交流できるアートワークショップ及び学生自身の魅力を発信する作品展を伊香保温泉内の旧お宿を使って開催しました。

日本看護教育学会ポスターデザイン



群馬県立県民健康科学大学の教員が多く参加されている日本看護教育学会のポスターデザインを、美学美術史学科デザインゼミ生6名が担当し、その中から上記のデザインが採用されました。

たかさき雷舞フェスティバル ノベルティだるま



10月9日群馬のよさこい祭り「たかさき雷舞フェスティバル」ダンスチームへの参加賞として、実技(絵画・デザイン)ゼミ生が作ったチームの特徴をとり入れたオリジナルだるまをプレゼントしました。

病院内アートプロジェクト



17年目となる角田病院とのアートプロジェクト、今回のテーマは「モザイクアートによる癒し」です。2,000枚のハガキを使って巨大壁画を作成しました。作成に使用したハガキは、来院した方が持ち帰ることができるよう工夫をしました。院内が優しい色に包まれ、「癒し」の空間となりました。

美学美術史学科

美学美術史学科

国際コミュニケーション学部

国際コミュニケーション学部

国際コミュニケーション学部

国際コミュニケーション学部

高崎市の文化複合施設SO.ラボ とのワークショップ開発



美学美術史学科デザインゼミ生が「文化複合施設SO.ラボ」との産学連携を授業の一環として、ワークショップ「マッピー」を開発しました。マッピーとは参加者自身が考えた「夢の街」を作ることができる塗り絵で、完成後はみんなで繋げて大きな街を作ることが可能です。

産学連携 JAF群馬支部×女子大



JAF群馬支部と美学美術史学科との産学連携を2プロジェクト実施しました。1.秋の全国交通安全運動期間に交通マナー向上のための、のぼり旗のデザインを実技(絵画・デザイン)ゼミ生が制作し、県内に配布。2.JAF群馬支部職員キャラクターデザインを絵画ゼミ生が制作、名刺等に活用しました。



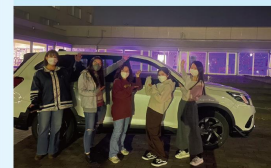
JAF群馬支部との産学連携プロジェクトの一環として、外国人ドライバーに日本の交通ルールを周知するためのリーフレットを英語、ポルトガル語、やさしい日本語で作成しました。国際コミュニケーション学科の2・3年生7名が、これまでに培った語学を活かし、地域の交通安全活動に貢献しました。

「コミュニティで学ぶSDGs」 県内高校生との連携授業



本学の学生たちが地域社会とともに「持続可能な開発目標(SDGs)」に関連した学習に取り組むアクティブラーニング科目です。今年度は、群馬県内の高校と連携して実施しています。大学生と高校生が協同して、SDGsに関する調査とプレゼンテーションの作成を行っています。

大学公認サークルKDGsの取り組み



KDGsは、SDGsに関する様々な取り組みを実践しているサークルです。富士スバルとのコラボ企画では、「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として、富士スバル高崎店のスペースを借りて、ライトアップを実施しました。また、同じ展示を学内でも行いました。

太陽誘電(株)との連携事業



太陽誘電株式会社から提供された技術情報と各施設の見学で得られた知見をもとに、社会課題解決に向けた先端技術の応用方法の提案に取り組んだ研究成果として、本学学生がプレゼンテーションをしました。